

令和6年度

第3回定期監査
結果報告書

(令和7年1月執行分)

御殿場市監査委員



令和6年度

第3回定期監査
結果報告書

(令和7年1月執行分)

御殿場市監査委員

06 御 監 第 345 号
令 和 7 年 3 月 4 日

御殿場市長 勝 又 正 美 様
御殿場市議会議長 永 井 誠 一 様

御殿場市監査委員 榊 原 敏 彦
御殿場市監査委員 勝 間 田 博 文

定期監査の結果について(報告)

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定に基づき、令和6年度第3回定期監査を実施したので、その結果を同条第9項の規定により次のとおり報告します。

令和6年度第3回定期監査結果報告書

第1 監査の基準

この監査は、御殿場市監査委員監査基準(令和6年御殿場市監査委員告示第5号)に基づいて実施した。

第2 監査の種類

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定に基づく監査

第3 監査の対象

企画戦略部 企画課、未来プロジェクト課、観光交流課、魅力発信課、
デジタル戦略課、演習場渉外課

産業スポーツ部 農政課、農林整備課

第4 監査の着眼点

財務に関する事務が、正確で、適正かつ効率的に行われているか

- (1) 予算の執行に関する伝票等及び証拠書類等について
- (2) 現金、通帳、郵券等の金券などの管理について
- (3) 委託料随意契約の理由について
- (4) 備品等の管理について

第5 監査の主な実施内容

1 監査の期間

令和6年12月18日から令和7年1月28日まで

2 監査の範囲

令和6年4月1日から11月30日までの財務に関する事務事業の執行状況

第6 監査の実施場所及び日程

実施日	実施場所
令和7年1月24日 1月28日	監査委員事務局

第7 監査の結果

監査の対象となった事務事業の予算執行及び会計事務処理は適正にされており、施設等の管理状況についても概ね適正であった。

法令、条例、規則等に違反している事項、又は経済性、有効性の観点から改善を要する事項など、特に指摘すべき事項は見受けられなかった。軽微な指導事項については、その都度関係職員に対して改善を求めた。

所管毎の監査の概要は次のとおりである。

企画戦略部

1 監査の対象

企画課、未来プロジェクト課、観光交流課、魅力発信課、デジタル戦略課、演習場渉外課

2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正かつ効率的に執行されているものと認められた。指摘事項は見受けられなかった。また、軽微な指導事項については、その都度関係職員に対して改善を求めた。

企画課

当課は、課長以下7人(うち休職者1人)で、企画調整スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・市の将来構想や主要施策、重点事業計画を協議する庁議及び調整会議に係る事務
- ・御殿場市総合計画等策定事務
- ・地域循環共生圏推進事業に関する事務
- ・組織改編(行政改革)に関する事務
- ・広域連携に関する事務(富士山ネットワーク会議、2市1町行政懇談会、等)

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況(款別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対予算	対調定
国庫支出金	742,000,000	493,469,908	493,469,908	0	66.5	100.0
県支出金	109,000	63,467	63,467	0	58.2	100.0
財産収入	400,000	400,000	400,000	0	100.0	100.0
繰入金	23,500,000	0	0	0	0	0
諸収入	500,000	561,880	561,880	0	112.4	100.0

イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
企 画 費	70,578,000	28,411,410	42,166,590	40.3

※人件費を除く

(3) 現金、通帳の管理について

通帳の管理状況を確認した結果、適正に管理されていた。現金については保管していなかった。

(4) 郵券等の管理について

郵券については保管していなかった。

(5) 委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約関係書類を審査した結果、概ね適正に対応されていた。

(6) 備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

(7) 意見・要望事項

ア 森林整備によるJ-クレジットを活用し、脱炭素と経済の好循環を創出する御殿場型循環モデルを推進している中で、今年度、自治体として県内第1号のJ-クレジットを売却することができた。その売却先である三島信用金庫でもローンの活用を通じ、カーボンオフセットに繋がる新たな金融商品を開発するなど、地元企業の脱炭素の取組みとも好循環が生じている。

御殿場型循環モデルの更なる展開により、地域特性を生かした施策効果の一層の拡大が図られるよう期待する。

イ 「GOTEMBA MIRAI PROJECT」では、地元の高校生を対象とし、様々なプロジェクトに参加してもらうことで、アントレプレナーシップ(起業家精神)の養成や市の魅力発信、課題解決等を図っている。若い世代の意見を取り入れる取組みは他課においても始まっているが、それぞれ散発的に行うのではなく、体系立てた取組みとして、各課の連携が図れるような進め方を工夫されたい。

未来プロジェクト課

当課は、課長以下 6 人で、プロジェクト推進スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・SDGs推進事業
- ・人口減少対策推進事業
- ・沿道利便施設整備事業
- ・木製おもちゃ館整備事業
- ・関係人口創出・拡大事業

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対予算	対調定
県 支 出 金	1,980,000	0	0	0	0.0	-
繰 入 金	82,500,000	36,806,000	36,806,000	0	44.6	100.0
諸 収 入	0	2	2	0	-	100.0
市 債	44,200,000	0	0	0	0.0	-

イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
企 画 費	197,871,000	77,212,736	120,658,264	39.0

※人件費を除く

(3) 現金、通帳の管理について

通帳の管理状況を確認した結果、適正に管理されていた。現金については保管していなかった。

(4) 郵券等の管理について

郵券については保管していなかった。

(5) 委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約関係書類を審査した結果、概ね適正に対応されていた。

(6) 備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

(7) 意見・要望事項

- ア 「木育」のシンボルとなる、(仮称)富士山 木のおもちゃ美術館は令和8年夏の開館を目指し、準備が進められている。全ての人が木のぬくもりを感じられ、木に親しみを持てる木育環境を提供できる施設となるよう万全な準備をするとともに、ボランティアスタッフ育成を含めた、運営組織体制の構築にも計画的に取り組まれない。
- イ STEAM 教育啓発事業について、これまでの工業系に特化していた体験教室から内容を見直し、創造力、主体性等を育むワークショップへと変更したとのこと。SDGs 未来都市に選定された本市として、今後も子どもの自主性・問題解決力・創造性を伸ばす環境づくりに努められたい。
- ウ 人口減少対策については、来年度から企画課への事務移管が予定されているが、今後のまちづくりを考える上で非常に重要な要素となるものであり、これまでの調査・分析等の結果を踏まえ、戦略的かつ継続的な施策の展開に繋がられるよう、鋭意取り組まれない。

観光交流課

当課は、課長以下 10 人(うち会計年度任用職員 2 人)で、富士山・観光スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・観光施策に関する事業（観光ハブ都市推進事業、富士山御殿場口振興事業、観光協会補助事業、等）
- ・観光施設管理に関する事業（富士山交流センター(樹空の森)及び御胎内温泉健康センター指定管理施設運営事業、富士山駐車場及び乙女駐車場の維持管理、等）
- ・観光広報事業（観光情報発信事業、等）
- ・観光振興事業（御殿場のまつり等支援事業、観光推進事業、インバウンド推進事業、等）

(2) 予算の執行状況（一般会計）

一般会計の歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況（款別）

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入未済額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
使用料及び手数料	2,673,000	1,875,600	1,744,390	131,210	65.3	93.0
県 支 出 金	2,120,000	2,227,850	2,227,850	0	105.1	100.0
繰 入 金	251,619,000	117,484,000	117,484,000	0	46.7	100.0
諸 収 入	3,020,000	3,018,978	3,018,978	0	99.9	100.0

イ 歳出予算執行状況（目別）

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
観 光 費	426,648,000	228,948,712	197,699,288	53.7

※人件費を除く

(3) 使用料の収納状況

使用料の収納状況は、次のとおりである。

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入未済額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
温 泉 使 用 料	2,660,000	1,862,000	1,744,200	117,800	65.6	93.7

※行政財産の目的外使用料を除く

(4) 現金、通帳の管理について

通帳の管理状況を確認した結果、適正に管理されていた。現金については保管していなかった。

(5) 郵券等の管理について

郵券については保管していなかった。

(6) 委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約関係書類を審査した結果、概ね適正に対応されていた。

(7) 備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

(8) 意見・要望事項

- ア 観光ハブ都市推進事業では、市内の 8 温浴施設を活用した「御殿場温泉・サウナ天国めぐり第 4 弾」キャンペーンを展開し、入込客数が前年度比 110% 増を達成する等、一定の効果があつたとのこと。今後も当市の恵まれた観光資源と、地理的優位性・交通利便性の強みを生かした「観光ハブ都市」としての受け入れ態勢を更に強化し、当市ならではの観光スタイルの確立と、魅力の磨き上げ、積極的な情報発信に努められたい。
- イ クラウドファンディングを活用した魅力創出支援事業について、令和 6 年度に 2 件のプロジェクトを立ち上げたオーナーに対し、市が目標達成に向けた企画及び運営、広報支援を行っている。今後も、まだ全国的に知られていない新たな市の魅力の創出を図り、積極的に発信されたい。
- ウ 補助金・交付金については、その内容及び効果を十分に検討されるとともに、補助団体等の経理事務について、精算報告書の他、出納簿、通帳、領収書のチェックを行い、適正に運用されるように引き続き指導されたい。

魅力発信課

当課は、課長以下 9人(うち会計年度任用職員 1人)で、魅力発信スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・広報活動事業（広報ごてんば発行事業、同報無線広報事業、市政カレンダー発行事業、コミュニティFM活用事業、等）
- ・ホームページ事業（市ホームページの保守・管理委託、フェイスブック・インスタグラム、等）
- ・シティプロモーション推進事業
- ・ふるさと納税推進事業
- ・報道機関対応

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
寄 附 金	1,750,000,000	611,258,500	766,301,400	0	43.8	125.4
繰 入 金	1,250,000,000	0	0	0	0.0	-
諸 収 入	3,770,000	3,590,000	3,475,000	115,000	92.2	96.8

イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
広 報 広 聴 費	951,383,000	364,296,223	587,086,777	38.3
財 産 管 理 費	1,050,000,000	0	1,050,000,000	0.0

(3) 現金、通帳の管理について

現金、通帳については、保管していなかった。

(4) 郵券等の管理について

郵券及び郵便受払簿について書類審査と現品確認を実施した結果、記録漏れが見受けられた。

(5) 委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約関係書類を審査した結果、概ね適正に対応されていた。

(6) 備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

(7) 指導(注意)事項

郵便切手の管理について、適正な事務処理に努められたい。

(8) 意見・要望事項

ア シティプロモーション推進事業について、都内での映像放映、東京駅周辺での動画配信及びパンフレットの配架、コンシェルジュによる案内等を行い、当市の情報を発信している。費用対効果を測ることは難しいが、効果的な場所や時期を検討し、引き続き、市のPRに努められたい。

イ 広報ごてんばについて、今年度の静岡県広報コンクールの広報紙(市部門)で優秀賞、1枚写真部門で最優秀賞をそれぞれ受賞した。今後も、市民がより読みたくなる広報紙を発行できるよう、魅力ある特集記事の掲載や写真技術の向上に取り組まれたい。

ウ ふるさと納税寄附金について、今年度初めて20億円を突破し、過去最高額となり、寄附件数、返礼品数、返礼品掲載サイトも増加している。市の認知度を向上させる好機でもあることから、PRの方策を検討するとともに、体験型を含む返礼品の充実等の取組みにより、当市及び当該寄附制度への関心を高める環境づくりを図られたい。

デジタル戦略課

当課は、課長以下 12 人(うち会計年度任用職員 1 人)で、デジタル推進スタッフ、情報政策・統計スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・情報化機器の運用管理、システム標準化・共通化に関する事務
- ・庁内ネットワークの管理及び運営並びにセキュリティ対策に関する事務
- ・行政サービスのデジタル化の推進に関する事務
- ・各種統計調査に係る事務

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況 (款別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入未済額	収 入 率	
					対予算	対調定
分担金及び負担金	12,039,000	5,024,431	5,024,431	0	41.7	100.0
国 庫 支 出 金	97,777,000	3,876,000	0	3,876,000	0.0	-
県 支 出 金	5,255,000	5,241,920	5,241,920	0	99.8	100.0
諸 収 入	1,000	34,622	34,622	0	3462.2	100.0

イ 歳出予算執行状況 (目別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支出率
情 報 政 策 費	431,552,000	168,563,273	262,988,727	39.1
統 計 調 査 総 務 費	796,000	759,680	36,320	95.4
基 幹 統 計 費	705,000	136,013	568,987	19.3

※人件費を除く

(3) 現金、通帳の管理について

通帳の管理状況を確認した結果、鍵がかからない場所での保管だった。現金については保管していなかった。

(4) 郵券等の管理について

郵券については保管していなかった。

(5) 委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約関係書類を審査した結果、概ね適正に対応されていた。

(6) 備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

(7) 指導(注意)事項

通帳の管理について、鍵がかかる場所で適正に管理されたい。

(8) 意見・要望事項

ア 基幹システム標準化・共通化事業について、令和8年1月から対象の 20 業務中、戸籍関係業務以外の 18 業務が標準準拠システムに移行することとなっている。国から示される事項の遅れや SE 不足等の問題が生じているとのことだが、国の給付金事業等にも必要不可欠な対応であることから、関係各課と連携を強化し、着実な移行ができるよう準備されたい。

イ 当市では、ここ数年 DX に取り組み、「行かない・待たない・書かない窓口」を始めとする市民の利便性向上や、職員の事務の効率化を推進してきた。今後もデジタル技術の活用により、更なる市民サービスの向上が図れるよう、庁内の人材育成等を含め、計画的に取り組まされたい。

ウ 令和5年度に情報セキュリティポリシー基本方針、情報セキュリティ対策基準の改定をし、今年度から情報セキュリティの自己点検及び監査を行っているが、離席時の画面ロックやのぞき見防止対策の未実施が確認されたとのこと。情報セキュリティポリシーの遵守を促す仕組みづくりにも更に努められたい。

演習場渉外課

当課は、課長以下 3 人で、渉外スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・東富士演習場使用協定に関する事務
- ・東富士演習場に関連する総合対策、連絡調整及び渉外に関する事務（林野特産物補償研究会、水利関係、等）
- ・東富士演習場地域協議会に関する事務及び会計
- ・東富士演習場土地契約問題協議会に関する事務及び会計
- ・防衛省関係会計実地検査に関する事務

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入未済額	収 入 率	
					対予算	対調定
国庫支出金	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0	100.0	100.0

イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支出率
渉 外 事 務 費	2,483,000	1,276,400	1,206,600	51.4

※人件費を除く

(3) 現金、通帳の管理について

現金、通帳については保管していなかった。

(4) 郵券等の管理について

郵券については保管していなかった。

(5) 委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約については、該当がなかった。

(6) 備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、適正に管理されていた。

(7)意見・要望事項

本年3月31日が第十二次東富士演習場使用協定の期間満了であり、第十三次使用協定に係る協議が行われているが、引き続き、適切な渉外事務の実施に努められたい。

産業スポーツ部

1 監査の対象

農政課、農林整備課

2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正かつ効率的に執行されているものと認められた。指摘事項は見受けられなかった。また、軽微な指導事項については、その都度関係職員に対して改善を求めた。

農政課

当課は、課長以下 13 人(うち相談員 1人、会計年度任用職員 2 人)で、農政スタッフ、農業振興スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・御殿場市農業委員会事業
- ・農業政策に関する事業（担い手組織支援事業、地域計画策定事業、たくみの郷指定管理施設運営事業、等）
- ・農業振興に関する事業（地区農業振興事業、農作業受託事業、地場産品活用推進協議会事業、みどりの農業推進協議会事業、漬物製造等事業継続支援事業、等）
- ・畜産振興に関する事業（家畜防疫事業、等）

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
使用料及び手数料	6,000	2,400	3,000	0	50.0	125.0
県 支 出 金	116,977,000	205,890,647	105,890,647	100,000,000	90.5	51.4
(うち現年)	16,977,000	5,890,647	5,890,647	0	34.7	100.0
(うち繰越明許)	100,000,000	200,000,000	100,000,000	100,000,000	100.0	50.0
繰 入 金	30,211,000	26,361,000	26,361,000	0	87.3	100.0
諸 収 入	7,422,000	1,479,540	1,479,540	0	19.9	100.0
市 債	4,500,000	0	0	0	0.0	-

イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
農 業 委 員 会 費	3,966,000	1,156,206	2,809,794	29.2
農 業 総 務 費	41,784,000	19,034,545	22,749,455	45.6
農 業 振 興 費	164,677,000	137,769,528	26,907,472	83.7
(うち現年)	63,677,000	36,769,528	26,907,472	57.7
(うち繰越明許)	100,000,000	100,000,000	0	100.0
(うち事故繰越)	1,000,000	1,000,000	0	100.0
畜 産 振 興 費	2,461,000	1,838,180	622,820	74.7

※人件費を除く

(3) 現金、通帳の管理について

通帳の管理状況を確認した結果、適正に管理されていた。現金については、保管していなかった。

(4) 郵券等の管理について

郵券及び郵便受払簿について書類審査と現品確認を実施した結果、記録漏れが見受けられた。

(5) 委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約関係書類を審査した結果、概ね適正に対応されていた。

(6) 備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

(7) 指導(注意)事項

郵便切手の管理について、適正な事務処理に努められたい。

(8) 意見・要望事項

ア 環境を重視した持続可能な農業を推進すべく、当市においても国交付金を活用してスマート農業機械による実証実験事業を始め、今年度は収穫量と品質に一定の成果が出ているとのこと。農業を取り巻く環境が年々厳しさを増し、様々な課題が山積する中、省力化や省資源化を目指す取組みを今後も継続することで、担い手不足や生産基盤強化等の課題解決に向け、実効性のある対策が見出せるよう努められたい。

イ 地区農業振興事業について、各地区の部農会へ諸活動の助成を行っているが、地区により助成額の差が大きくなっている。財産区の有無により地域的な不均衡が生じないよう配慮されたい。

ウ 補助金・交付金については、その内容及び効果を十分に検討されるとともに、補助団体等の経理事務について、精算報告書の他、出納簿、通帳、領収書のチェックを行い、適正に運用されるように引き続き指導されたい。

農林整備課

当課は、課長以下 10 人で、基盤整備スタッフ、森林スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・農業用排水路等の整備及び土地改良施設の維持管理に関する事業（市単独農業施設等整備事業、土地改良区交付事業、農業農村整備事業、等）
- ・東富士演習場関連公共用施設整備事業(防衛 9 条)
- ・ほ場整備事業に関する事務（県営ほ場整備事業:高根西部・一色地区、中清水地区）
- ・林業振興及び森林・林道整備に関する事業(森林組合運営費補助事業、鳥獣被害対策事業、等)
- ・東富士演習場内緑地帯設置事業（国庫委託事業）
- ・東富士演習場内治山治水対策事業（国庫委託事業）
- ・森林公園指定管理施設運営事業

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位:円・%）

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入未済額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
地 方 譲 与 税	29,220,000	15,513,000	15,513,000	0	53.1	100.0
分担金及び負担金	658,000	658,350	658,350	0	100.1	100.0
使用料及び手数料	1,000	1,540	0	1540	0.0	0.0
国 庫 支 出 金	244,819,000	33,627,000	33,627,000	0	13.7	100.0
県 支 出 金	22,123,000	4,409,320	4,409,320	0	19.9	100.0
寄 附 金	400,000	0	0	0	0.0	-
繰 入 金	115,635,000	1,370,000	1,370,000	0	1.2	100.0
諸 収 入	0	985,500	985,500	0	-	100.0
市 債	134,900,000	0	0	0	0.0	-
（うち現年）	121,000,000	0	0	0	0.0	-
（うち繰越明許）	10,900,000	0	0	0	0.0	-
（うち事故繰越）	3,000,000	0	0	0	0.0	-

イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
農 地 費	253,788,000	80,207,854	173,580,146	31.6
（うち現年）	219,061,000	67,848,307	151,212,693	31.0
（うち繰越明許）	29,700,000	7,332,547	22,367,453	24.7
（うち事故繰越）	5,027,000	5,027,000	0	100.0
東富士周辺用水整備事業費	17,880,000	6,767,500	11,112,500	37.8
ほ 場 整 備 事 業 費	103,979,000	10,240,174	93,738,826	9.8
林 業 振 興 費	67,350,000	21,052,155	46,297,845	31.3
緑 地 帯 設 置 事 業 費	52,051,000	3,437,124	48,613,876	6.6
森 林 公 園 管 理 費	64,599,000	26,823,661	37,775,339	41.5
場内治山治水対策等事業費	171,300,000	75,341,036	95,958,964	44.0
農 業 施 設 災 害 復 旧 費	17,000	0	17,000	0.0
林 道 等 災 害 復 旧 費	17,000	0	17,000	0.0

※人件費を除く

(3) 現金、通帳の管理について

通帳の管理状況を確認した結果、適正に管理されていた。現金については、保管していなかった。

(4) 郵券等の管理について

郵券及び郵便受払簿について書類審査と現品確認を実施した結果、適正に管理されていた。

(5) 委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約関係書類を審査した結果、概ね適正に対応されていた。

(6) 備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

(7) 意見・要望事項

ア 鳥獣被害の対応について、場所及び内容により農林整備課、農政課、環境課の3課が担当してきたが、組織改編により、来年度から貴課内に「鳥獣対策スタッフ」が新設される。専門部署として、総合的・効果的な対策の推進に努めるとともに、今後も関係各課及び市鳥獣被害対策実施隊等と緊密に連携して、円滑な被害対応をされたい。

イ 現在、御殿場産木材・愛称『ごてんばっ木(こ)』の生産量が少なく、供給が不安定であることが課題であるとのこと。関係団体等との連携を強化し、継続的な森林整備に努めることで市産材の安定確保を図るとともに、貴重な資源を更に有効活用できるよう、木材の地産地消化の促進にも引き続き取り組まれない。

ウ 乙女森林公園キャンプ場について、今年度から予約方法を電話からオンラインに変更したことで、利便性が向上し、利用者増及び事務の軽減につながっている。引き続き、利用しやすい環境づくりに取り組むとともに、老朽化が進む施設の適切な維持管理及び計画的な改修にも努められたい。